



田辺鶴瑛の



介護講談

介護のつらさを
笑いに変えていく

文部科学省選定
青年向き／成人向き
平成28年6月28日

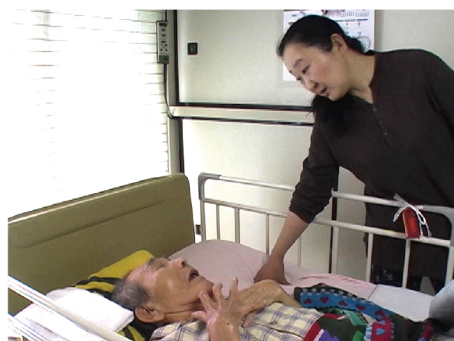
出演: 田辺鶴瑛 / 田辺銀治

製作・監督・編集: 荻久保則男 撮影: 荻久保則男 / 柴田琢哉 録音: 後藤遥 MA: 柴田琢哉 劇中DVD映像: 李潤午 ヘアメイク: Salon de Kikumaru
写真: ヤナガワゴース! 舞台監督: 松田光宏 舞台進行: 田辺いちか 宣伝デザイン: 小林敦子 写真提供: 川上哲也

©熊猫堂 2016年 / 日本映画 / 90分 / カラー

じいちゃんが教えてくれたのは「いまがたいせつだ」ってこと

高齢化社会の現代、誰にとっても決して他人事とは思えない「家族の介護」にどのように向き合うべきか？目からウロコのヒントが満載です。



女流講談師・田辺鶴瑛さんが、義父の在宅認知症介護の実体験を基に創作した、大好評のオリジナル講談をライブ収録しました。



田辺 鶴瑛

昭和30年11月22日
北海道函館市生まれ。
地元小中学校卒業。
札幌藤女子短期大学別科卒業。
19歳のとき母が死亡。
結婚、出産、子育ての後、
義母が倒れ3年間の介護。
義母の死後、平成2年に
講談師・田辺一鶴に弟子入り。
平成15年真打昇進。
平成17年認知症義父を在宅介護、
平成23年に在宅看取り。



介護が楽しくなった！——— 娘・講談師：田辺銀冶

母・田辺鶴瑛は10代から実母の介護に明け暮れました。結婚後は、私を育てながら今度は義母の介護。「一生懸命やったはずなのにちっとも喜ばれない」と悩む日々。そんな母に三度目のチャンス(!)が到来したのは2005年。今度こそ「感謝」の介護がしたいと認知症の義父を在宅介護することになり、父や私を巻き込んで大奮闘。ところがある日、母のちょっとしたアイデアが転機となり、いつしか私達のほうがおじいちゃんに癒されていることに気づいたのです。そうして家族の絆も深まっていきました。泣いて笑って最後にはホッと肩の力がほぐれるような私達の介護経験を母・鶴瑛がひとつの講談にしました。



自主上映会募集中

介護について、在宅医療について、命の結びつきについて、地域の人みんなで考えてみませんか？詳しくは「映画・田辺鶴瑛の介護講談」ホームページにて。 <http://kaigo-kodan-movie.net/>